

共生・公正・創造



ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290
発行者/今井 伸 編集者/平 憲治

“テロリストに乗っ取られたJR東日本の真実”

『週刊現代 - JR東日本革マル浸透問題告発 - 』 **連載第17回**

「JR革マル派43人リスト」一挙公開!

『週刊現代』が、JR東日本の革マル浸透問題を連載記事で告発した。本紙は驚くべきこの事実をシリーズで紹介する。(JR連合民主化闘争情報号外より一部抜粋)

< 週刊現代2006年11月13日発売号 >

これが極左セクトに支配されている決定的証拠だ!

「トラジャは、旧国鉄分割民営化直前の86年、松崎を中心とした旧『動労』革マル派が、組合活動家を抜擢し、革マル派“本体”に送り込み、『職業革命家』としての訓練を受けさせたグループ。JR革マル派組織のトップで、マングローブの指導などに当たる組織です。一方のマングローブは、分割民営化後のJR各社の労働組合における革マル派の組織防衛と拡大を目的に、JR革マル派内部で作られた組織なのです。目黒さつき会館(JR総連本部)の四階に常駐しているメンバーを頂点に、組合員に革マル派思想を浸透させると同時に、組合員からのカンパを革マル派本体に上納しているのです。ただトラジャもマングローブも『組織防衛』の観点から、組織実態はもちろんのこと、その存在さえ、一般組合員に秘匿されているのが実態なのです。

...ただ、今なお、このピラミッドの頂点に君臨している人物が、松崎明だということだけは、間違いありません。そしてこのリストや、現在のJR東労組・JR総連本部の役員名簿から言えることは、JR東労組やJR総連が、JRの社員でもない、学生革マル派出身の組合プロパー職員や、首なし専従に喰いモノにされているということなのです

(元JR東労組中央執行委員・本間雄治氏)

「テロリストに乗っ取られたJR東日本の真実 『JR革マル派43人リスト』一挙公開」と題するこの記事は、JR東労組が革マル派に支配されている決定的証拠を明らかにしている。

週刊誌は匿名で報道しているが、10月10日の「東労組を良くする会」の情報公開請求訴訟記者会見で一部リストは明らかになっている。それによると、石川本部委員長・千葉本部書記長・柳原本部副委員長・角岸最高顧問・奈良さつき企画社長・竹内顧問・高橋佳夫さつき企画勤務・林和美プロパー書記・大久保恵美プロパー書記・石井俊郎“プロパー書記”千葉地本書記長・高橋由美子プロパー書記・小田JR総連委員長・四茂野“プロパー書記”JR総連副委員長・船戸元東海労副委員長“目黒さつき会館四F常駐”らがマングローブメンバー(革マル派)だという。

これでも「東労組に革マル派はいない」と言うのか!